

図書館だより

平成29年度 第4号
伊丹西高等学校 図書館
平成29年10月31日(火)

話しているうちに、さらにテンションが上がってくる。疲労と興奮から来るナチュラルハイがピークを迎えているらしい。そう思ったのと同時に、僕はハッと気が付いた。

なぜ自作の中二小説の朗読配信をやっていたのか。何だかんだでビブリアファイトに関わり続けたのはなぜか。結局のところ、僕は何をしたかったのか。その答が今、理解できたような気がしたのだ。

分かってみれば単純だ。本が好きで物語が好きなら、誰でも考えることである。

僕は物語の世界が好きで、魅力的なキャラが好きで、カッコいい台詞をバシッと決めるヒーローが好きだった。だからこそ、声を出すことでそっち側に近づきたかったのだ。それをやりたかったのだ。それになりたかったのだ。

もちろん、なれっこないことはよく分かっている。でも、できないと理解することと、憧れ、近づこうとすることとは違うのだ。無理と分かっているながらファンタージェンへの憧れを持ち続けるこぐちさんのように。

峰守ひろかず『ビブリア古書堂の事件手帖スピンオフ
こぐちさんと僕のビブリアファイト部活動日誌』より

鎌倉のとある高校で、友達には秘密で中二病溢れる自作の小説の朗読配信を行っていた前河響平。ある日、響平はその小説を書いたノートを学校で紛失してしまうが、それを拾ったのは卯城野こぐち。読書に熱中すると作品世界に入り込んでしまう読書少女であるこぐちにとって、唯一安心して読書ができるのが旧図書室であり、たった一人の図書部員である。しかし、利用者のほとんどいない旧図書室は廃止の危機に陥り、旧図書室を護るためにふたりは生徒会長のオリジナルルールの書評バトル「ビブリアファイト」に挑むことになる。

引用は、原稿担当のこぐちと二人三脚で「ビブリアファイト」を闘ってきた響平が、自分の本心に気付く場面です。夢を叶えることのできる人はそれほど多くはありません。しかし、最初から夢を持たねば何も始まらないし、ただ夢見るだけで手をこまねいているだけでは成長することは叶いません。皆さんは今、将来に備えて力を蓄える時期。いつまでも夢や憧れを持ち続け、少しでもその夢に近づいて行って下さい。

読書感想文コンクール校内表彰者決定

1年2組 河岡春日 「『犬が来る病院』を読んで」
(大塚敦子『犬が来る病院』)

1年5組 保郁美 「『永遠の0』を読んで」
(百田尚樹『永遠の0』)

1年6組 西川瑠香 「『西の魔女が死んだ』を読んで」
(梨木香歩『西の魔女が死んだ』)

2年6組 西村陽南 「俊寛を読んで考えたこと」
(近松門左衛門『平家女護島』)

※ 2年7組 岸本思歩 「『白球ガールズ』を読んで」
(赤澤竜也『白球ガールズ』)

なお、※印の1編は青少年読書感想文コンクール（阪神地区）に応募しました。

読書マラソン開催のお知らせ

10月27日から11月9日は読書週間。図書館では今年も読書週間にちなんで恒例の『読書マラソン』を開催します。11月24日（金）までの期間に図書館で本を借りて（カードに簡単な感想を書いて）スタンプを集めましょう。豪華、とはいきませんがささやかな賞品を進呈します。

ビブリオバトル開催のお知らせ

来たる11月10日（金）15時30分より、図書館に於いてビブリオバトルを開催します。ビブリオバトルとは、各自が読んで面白いと思った本を持って集まり、順番にその本を紹介して、参加者全員でその発表に関するディスカッションを行う知的書評合戦。全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなかったか？」を基準とした投票を行って『チャンプ本』を決めます。公式ルールには細かな取り決めがあるのですが、まずはやってみるのが一番。少しゆる～いルールでバトルすることになります。図書館にない本が『チャンプ本』になれば買ってもらえるかも。今年の読書週間の標語は『本に恋する季節です！』図書委員でなくてもOKですので、気軽に参加してお勧め本について熱く語ってください。

ことば蔵・ヤングアダルトコーナーについて

伊丹市立図書館『ことば蔵』に行ったことはありますか？ 先進的な活動を行う図書館などを表彰する『ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016』で、日本一の図書館に与えられる『大賞』を受賞した図書館です。市民のアイデアを取り入れることで年間200回を超えるイベントを開催し、読書だけでなく、誰もが気軽に訪れる図書館づくりをしています。その2階にヤングアダルトコーナーが常設されています。居場所となるような、勉強も読書も進路調べもできる中高生による中高生のためのコーナー。県立伊丹高校と市立伊丹高校、伊丹北高校、そして伊丹西高校の4校の図書委員や有志が企画・運営をしています。(いま阪神昆陽高校にもお声がけしています)

高校生たちのオススメ本や季節に合わせた本（選書会議はさながらビブリオバトル）を取りそろえていますので『ことば蔵』に行った時には是非のぞいてみてください。

また、YAコーナーの高校生応援スタッフを募集しています。活動は、毎月1～2回、木曜日か金曜日の放課後、16時30分～18時。(参加できる時だけ来てもらえればOK) 他校の生徒と交流を持ったり、図書館の裏側がのぞけます。

興味・関心がある人は西高の図書館スタッフに声を掛けるか、直接「ことば蔵」に行ってみてください。

